

報告**福島県立安積高等学校における冬の星空観望会**

冬の星空観望会実施委員長 吉田 裕 (天文サークル星空の会)
天体観望会の企画・実施の支援実行委員会
和久 信一 (日食情報センター)

1. はじめに

平成 24 年 12 月 1 日に、福島県立安積高等学校を会場として「天体観望会の企画・実施の支援実行委員会」主催の「冬の星空観望会」が開催されました。なお、この観望会は、子どもゆめ基金の助成金を受けて行われました。

2. 準備**【指導者・アルバイト】**

平成 24 年 6 月始めに、「天体観望会の企画・実施の支援実行委員会」委員長の水野氏より、メールにて観望会開催の連絡を受けました。と同時に開催にあたっての講師人選の相談を受けました。私は福島県天文協会事務局に連絡を行い、6 月 30 日、7 月 1 日に福島市で開催された「第 4 回星空案内人の集い」（南東北、関東の天文愛好者によるノウハウ、意見交換会）で福島県立安積高等学校の開催予定の「冬の星空観望会」について告知を行いました。また、夏に東京の獨協中学校・高等学校で行われた「夏の星空観望会」を参考に、9 月 8 日に行なった「福島県天文同好者の集い」（福島県内にて天文活動を行う方々の交流会、主催：福島県天文協会）にても参加者を募りました。

その結果、指導実施者 18 名（福島県 7 名、栃木県 6 名、茨城県 4 名、宮城県 1 名）、アルバイト（受付・誘導係）6 名の計 24 名の方に協力頂きました。

【観望会の参加者募集】

一般参加者の募集方法として、福島県天文

協会 ML、知り合いの天文同好会、天文施設に訪問、メール、電話にて観望会のお知らせをしました。

郡山市内全小・中・高等学校 109 校、公民館・児童館 44 か所に郵送にて観望会のご案内とポスターを郵送しました。

その他、地元マスコミに開催の告知、近隣天文施設にチラシ・ポスターの掲示をお願いしました。

3. 観望会

観望会当日、午前中は風雪が強く開催が危ぶまれましたが、午後 3 時には青空が見え始めたため開催を決定しました。

この観望会（図 1～7）は、指導実施者（観望会経験豊富な方）と指導初心者（観望会経験が少ない方）が組み、1 台の機材で一般参加者に対応するという形式をとっています。

17 時受付開始。体育館にて来場を受け、受付表、レクリエーション保険の記入をおこない、17 時 30 分より開催挨拶、観望会の概要と注意点の説明をし、プロジェクターを使った当日の星空紹介を 20 分ほどしてからグラウンドに移動。観望会をスタートしました。開始直前まで天候状況があまりよくないということもあり、一般参加者の数は当初目標とした人数より大幅に少なくなりました。18 時 40 分には風が強くなると同時に冷え込みも強まり（気温 3℃、風のため体感温度は、恐らく氷点下）、風花もちらついてきたので、予定時刻を早めて外での観望会を終了しました。

指導者 18 名により望遠鏡 10 台と双眼鏡 4 台を用意し、観望会はスタートしました。観望では、まずアルビレオなど夏の星座にある天体を見てもらい、次に適切な高度になった木星とその衛星を楽しんでいただき、その後、秋の星座に有るスバルやカシオペヤ座の通称 ET 星団 (バルタン星団) と呼ばれる NGC457 を見てもらい、好評でした。また、自作の透過式星座投影機で実際の星座の星々に合わせるように星座線や星座絵が眼前に写し出されるのには驚いていました。

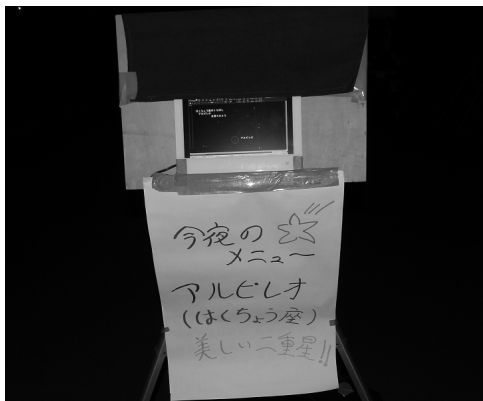


図 4 対象天体の紹介プレート



図 1 望遠鏡セッティング

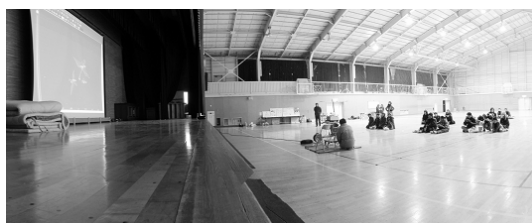


図 5 本日の星空解説



図 2 スタッフミーティング



図 6 自作透過式星座投影機で解説



図 3 触れる天体写真の展示



図 7 星空を楽しむ参加者

4. 今後に向けての反省点・問題点

4.1 スタッフとのコミュニケーション

メールによる開催計画中心の募集で主催側の情報が少なく、主旨や要旨が全体的に伝わりませんでした。頻繁に会って面と向かい合ったコミュニケーションが必要でした。

4.2 当日の開催場所への誘導

校門から観望会場まで距離があり（図8）、さらに受付の体育館から望遠鏡が設置してある観測場所への移動では段差があったので、足元誘導の灯りをLEDガーデンライト3個、LEDライト1個を用意しておきましたが、さらに増やすべきでした。

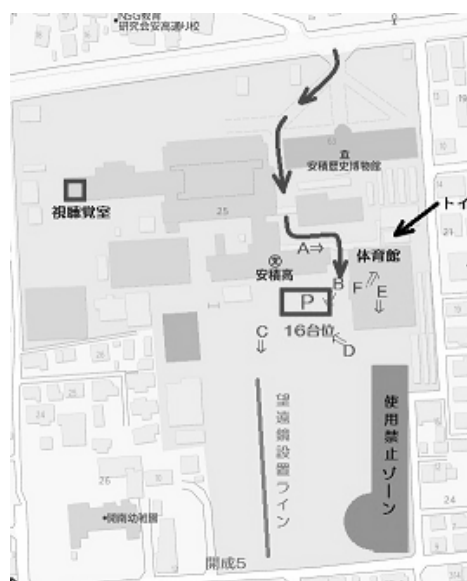


図8 開催場所校内図

4.3 寒さ対策

チラシ、ポスターに寒さ対策に対しての注意喚起を記載していたにも関わらず、軽装での参加者がおりました。暖を取れる準備を考えるべきでした。

4.4 参加者

一般参加者が少なかった原因は次のように

考えられます。

- ・ 原因1：天候
午前中に風雪があり、午後から晴れてきたものの、風花が舞う極端に寒い気候に問題があったと推察します。
- ・ 原因2：交通
福島県は車社会であり、駐車場が無く、徒歩で参加となるとかなり厳しくなります。
- ・ 原因3：社会的要因
2011年3月11日以降の東京電力福島第一原発の事故の問題です。除染は進んでいて屋外で活動しても影響がないレベルですが、それでも子供の将来を考えて外で遊ぶことを極力避けている家庭もあります。

なお、開催日と開催地の決定にあたっては、地元の天文関係者等に相談して情報収集すべきでした。

5. おわりに

近年の「はやぶさ」「金環日食」「最新式プラネタリウム」等で、宇宙、天文に関心が高まっています。それを一過性のブームで終わらせずに興味を持って貰うためには、我々天文関係者が絶えず安全で感動してもらえる天体観望会を模索していく必要があると思います。

吉田 裕 和久信一

吉田 裕：

和久 信一：

(写真等協力)